

日本産業衛生学会

## 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会  
 (事務局 圓藤吟史)  
 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3  
 大阪市立大学大学院医学研究科  
 産業医学分野(環境衛生)内  
 FAX:06-6646-3160  
 発行責任者・圓藤吟史(地方会会長)

<http://www5.ocn.ne.jp/~jsohkink/>

## 日本産業衛生学会創立80周年を迎えて

近畿地方会長  
 圓藤吟史



新年あけましておめでとうございます。

秋には第48回近畿産業学会が「安寧の労働を求めて:ストレスコミュニケーション」を総合テーマに2008年11月22日大阪大学で森本兼曩教授の下開催されました。森本教授は日本産業ストレス学会の副理事長・常任理事を歴任され、会長として第24回日本ストレス学会学術総会を10月31日から11月1日に主宰されましたように、ストレスならびにライフスタイルの研究に精力的に取り組んでおられます。午前中は22題の一般演題、午後の特別講演は六反一仁徳島大学教授による「ストレス理解:ストレス関連疾患と遺伝子発現」と題して、ストレス脆弱性の分子構造に関する研究をご報告していただきました。ストレスという外因性因子と遺伝子という内因性因子との関係についても分かりやすく説明していただき、医学生でのデータも紹介され、予知医学、予防医学への応用についても紹介されました。シンポジウムは総合テーマに即して、小泉昭夫(環境リスク)、夏目誠(サポートとストレス反応変容)、堤明純(労働格差)、茂原治(森林自然交流)、鈴木純子(ケアとキュア)の各先生により、幅広くコミュニケーションがなされました。懇親会は大阪ロイヤルホテル派遣シェフによる豪華な昼食会として開かれました。参加費の中に懇親会費が含まれるとのことでしたが、コストベネフィットは大きかったと思われま

す。話は変わりますが、2007年のアメリカ住宅バブル崩壊に始まった世界金融危機は世界恐慌へと発展することが危惧されています。80年前の世界恐慌は1929年10月24日のニューヨーク証券取引所の株価の大暴落で始まっています。日本産業衛生学会は同じ年の2月10日に産業衛生協議会として発足しています。その前のわが国の状況は、1914~18年の第一次世界大戦時の好況から一転しての不況、1923年の関東大震災、震災手形の不良債権化、1927年の昭和金融恐慌が発生しています。このように並べてみると学会設立前後の経済状態、雇用労働環境は、現在の状況とそっくりと思えます。このような時代だったからこそ、産衛学会は設立されたと考えています。歴史は繰り返すといいますが、厳密には同じではなく、スパイラル的に巡ってきたと考える方が正確だと思います。今度の世界金融危機に対して金融経済的にはどのような対策が適切か、景気対策が有効なのか、わかりませんが、非正規雇用者の解雇に始まって、失業者が大幅に増加するのか、労働保護法が形骸化するのか、サバイバビリティの時代の到来との見方もあります。逆に、ワークシェアリングを推進することになるのか。いずれにしても、産業保健が労働者にとってセーフティネットワークであって欲しいと願っています。新たな時代に即した新たな産業保健の幕開けが2008年12月の「産業看護」誌創刊を契機にして始まるかも知れません。創立80周年を迎えて、本学会の創成期の先達の活動功績に学ぶことが多いと思います。

今年の第49回近畿産業衛生学会は、神戸で西尾久英教授の下で開かれます。西尾教授は楽しい企画とロイヤルホテルに負けない生協での懇親会を用意されるでしょう。会員皆様が積極的に参加され、盛会になりますことを期待しております。

私はこの春、近畿地方会長を退任し、車谷教授に引き継ぎます。在任中のご厚情に感謝しますとともに、車谷会長の下で更なる発展を期待しております。日本産業衛生学会は7,604人の会員、255人の指導医、145人の専門医、1,329人の産業看護師を擁し、4部会、9地方会、7委員会、30研究会ならびに、わが国で最も優れた国際誌のひとつであるJournal of Occupational Healthと産業衛生学雑誌を発行し、活発に活動しています。本学会がわが国の産業保健をリードしていくことがより期待されるようになってきました。そのためには公益社団法人への改組、迅速機能性のある組織運営へと転換を図り、さらに自立、自律した学会へと成長発展していかなければなりません。私としても、将来の理事長を見据えて、学会全体ならびに産業保健をリードして行くよう研鑽を積むとともに、円滑な運営、改革をサポートするために監事候補者としての登録手続きを進めていますので、皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご清祥とご活躍を祈念して、新年のご挨拶といたします。

## 第48回近畿産業衛生学会報告

## 学会を開催して

学会長:森本 兼彥 教授(大阪大学 医学系研究科 社会環境医学講座)



平成20年11月22日(土)、大阪大学医学部 銀杏会館 において第48回近畿産業衛生学会を開催し、盛会のうちに終えることができました。今学会のテーマを「安寧の労働を求めて：ストレスコミュニケーション」とさせていただき、企画・運営を進めてまいりました。11月下旬と通常の開催時期とは若干遅めの開催となりましたが、学会当日は快晴にも恵まれ、大阪大学のシンボルである銀杏の樹が、キャンパスのあちこちで美しく色づき、来場される方々を出迎えておりました。学会は、230名の方々のご参加を賜り、熱心な議論、活発な討論が展開されました。これもひとえに、学会員の皆様の熱意とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

午前中の一般演題は、大阪市中心部からやや離れた大阪大学吹田キャンパスでの開催ということで、10時10分スタートといたしました。22題の演題の応募をいただき、3つの会場で熱心な討論が展開されました。各会場とも真剣な発表、充実した討議が展開され、参加者の皆様の中に「明日の産業保健の課題と展望」の端緒が見えるようになったかと推察いたしております。座長・演者・ご参加の先生方に深く感謝を申し上げます。

幹事会・評議員会の後に、銀杏会館内にある大阪ロイヤルホテル派遣シェフによるレストラン・ミネルバにて、昼食懇親会が行なわれました。関西医大(徳永先生)、大阪医大(河野先生)に続きまして、大阪で行なう近畿産業衛生学会の伝統と申してもいいかと存じますが、アルコールをも交えましての昼食懇親会で、皆様のご懇談・ご懇親を深めていただきました。

午後には、特別講演とシンポジウムを企画いたしました。特別講演・シンポジウムに関しては、日本医師会産業医研修の単位認定(基礎研修(後期)または生涯研修(専門)の3単位)、日本産業衛生学会産業看護職継続教育(実力アップコース)単位認定があり、約120名の先生方より、単位認定への参加登録を頂戴しました。

特別講演は、六反一仁先生(徳島大学 ストレス制御医学)に「ストレス理解：ストレス関連疾患と遺伝子発現」をご講義いただきました。ストレス社会に迫るため「ストレスをどのようにして客観的に評価するのか」、というポイントに対し、「DNAチップを用いてストレス関連遺伝子の発現を網羅的に解析する」という新しいバイオメンタル技術の開発、さらにストレス脆弱性の分子機構の最新の知見をお話いただき、ストレスの本質的理解に迫ることができました。

続くシンポジウムでは、「ストレスコミュニケーション」を主題として、5人の先生方にご登壇いただきました。まず小泉昭夫先生(京都大学)からは、環境リスクコミュニケーションの重要性、さらにそれを担保する環境リスクアセスメントの科学性と、その基盤となる環境科学の科学性の大切さをご講演いただきました。次に夏目誠先生(大阪樟蔭女子大学)からは、事例をあげながら職場のストレスへのサポートの実際とストレス反応変容について説明・解説いただきました。堤明純先生(産業医科大学)からは、職業階層下位のグループにおけるストレスへの脆弱性が解説され、有害な就業環境に介入し職業性ストレスにアプローチすることにより、職業階層に基づく健康影響(格差)を減弱できる可能性をお話いただきました。茂原治先生(財)和歌山健康センター)からは、グローバル文明・グローバル資本主義に席卷される社会に働く我々が休むことの重要性、とくに森林自然交流と働く意欲・深いやすらぎ・熊野自然森のスピリットに関してご講演をいただきました。そして、鈴木純子先生(日本アイビーエム)からは、職場でのメンタルヘルス対策は社内でのケア(治療)から予防を含めたケアへと変わり、さらには外部リソース(医療機関・EAP他)との連携を綿密に行なう等、産業現場組織でのメンタルヘルスの具体例をお話いただきました。さらに総合討論では、車谷典男先生(奈良県立医科大学)からストレスコミュニケーションへの包括的提起を含むコメントを頂戴し、またフロアからの質疑、シンポジウム演者の先生方の討論が展開され、現代の職場のストレス状況の本質的な理解と対応の人的な方策に関して、産業保健スタッフの方々の日々の活動に関する示唆に富むシンポジウムとなりました。

最後に、幹事・評議員・会員の皆様のご協力をいただきまして、本会が盛会のうちに終了できましたことを、深く感謝申し上げます。

## シンポジウム「安寧の労働を求めて:ストレスコミュニケーション」に参加して…

三菱樹脂(株)長浜工場総務部健康管理グループ  
上坂 聖美

産業現場のストレス状況の本質的理解と人間的な方策に関する講演が狙いのシンポジウム。テーマであるストレスコミュニケーションは、今学会の総合テーマ、でもありました。その解釈に、リスクをストレスと読み替え、「社会を

取り巻くストレスに関する正確な情報を行政・専門家・企業・市民などのステークホルダーである関係主体間で共有し相互に意思疎通を図ること」と勝手に理解しました。

小泉先生の環境リスクコミュニケーションでは、心理的要因や暗黙の社会の理解を無視しリスクを確率的な議論のみで進めると、かく乱が起き、制御不能となる。かく乱には、社会や個人の「情」に関わる対策と「信頼」が必要となる、信頼奪回のための、担保にはリスクアセスメントの科学性が必要となる。夏目先生からは、上司・同僚のサポートとストレス反応変容を。メールの普及や成果主義により、職場は静まりかえりギスギスしている。相手のところに耳を傾け気持ちを聞く、雑談の効用、行きすぎたグローバルスタンダードでやさしい時間が減りストレスとなっていること。堤先生からは、労働格差の意味するもの、11年間の経過観察結果、日本でも職業階層下位グループにストレス脆弱性が示唆される研究成果の報告、有害な就業環境に介入し、職業性ストレスにアプローチすることにより職業階層に基づく健康影響を減す可能性はある。茂原先生の森林自然交流と働く意欲では、商品化・均質化・情報化からもう一度原点にもどり、深いやすらぎに包まれた「労働」「疲労」「休む」話題と熊野の自然を散策された先生ご自身のお写真も拝見でき「やすらぎ」を感じるひとときでした。IBMの鈴木先生からは、増えてくるメンタル不調者対応に自発的な部門主体の組織的活性化の取り組みが報告された。これは、以前の治療的対応から予防的対応へ動き出していることである。学会長の森本先生のお言葉から、安寧の労働とは、心の深いところで、楽しい、ハッピーなどの内的充実感が薄れていると感じられる現代、職場社会でも、人間と人間、人間と自然とのコミュニケーションを取り戻すことにより、丁寧な安心即ち、『安寧』な状態が創造され、人間らしい労働環境が醸成される日を夢に見た、心豊かなシンポジウムでした。

## 特別講演「ストレス関連疾患と遺伝子発現」を拝聴して

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門  
埜田 和史

六反一仁先生のご講演は、分子遺伝医学領域の研究成果が人間の心理や行動パターンの解析に迫りつつあることを示すもので、大変興味深いお話でした。

人は様々な状況に曝されたり困難に遭遇すると、不安になったり、

腹を立てたり、うつ的な心理状態になります。こうした環境ストレスに対する心理反応は特定の遺伝子の発現と関連づけて説明することができ、六反先生たちは、健康人の精神的・身体的ストレスやうつ病を中心とする精神疾患やストレス関連疾患の医学的データと遺伝子発現のデータベースを構築されているとのことでした。講演では、そうした研究成果の一部を示しながら、ストレス関連疾患と遺伝子発現との関連性を解説されました。専門領域の違いもあり、すべてが理解できた訳でもありませんが、いくつかの点で考えさせられました。

その一つが「遺伝子が環境を変化させる」ことについての説明でした。先生は、「遺伝的にかわいい」赤ちゃんは周囲の人からの働きかけを増加させる方向に作用させる旨を例としてあげられました。この例えを聞いて、以前、保育園のベテランの園長先生から「この子はかわいい笑顔だから、みんなが声をかけるので、ますます良く笑うようになり発達が促される。得な赤ちゃんだね」と乳児に声をかけていたことを思い出し、環境と相互関係にある遺伝子の存在に納得しました。もう一つは、親の子育て態度とストレス関連遺伝子の発現パターンについて、大学生の追跡調査に基づくお話でした。日頃、学生の指導や相談を担当しながら漠然と感じていたことが、遺伝子発現のパターンの違いである程度説明できるとのお話に驚きました。特に、親から受ける愛情の過不足や、親の過干渉の有無が発現に関係していると推測されるストレス関連疾患の遺伝子の存在については、学生指導担当の教員としてだけでなく、親の立場として、共感したり反省したりしながら講演を聴かせていただきました。

人の遺伝子は、胎内以後の様々な環境との相互関係の中で発現し、ストレスに対して多様な反応を示します。しかも、人の意志では遺伝子の取捨選択ができないわけですから、個々の労働者に対応したメンタルヘルスへの取り組みが重要なことを再確認することができた講演でした。

## 第48回近畿産業衛生学会に参加して

白鳳女子短期大学  
松本 泉美



穏やかな秋晴れの11月22日、「第48回近畿産業衛生学会」が大阪大学医学部銀杏会館にて開催された。当日は大学での所用のため遅れての参加となってしまう、逸る心で電車を乗り継ぎ、急ぎ足で会場に向かったが、広大なキャンパス内の

の会場までの道のりには銀杏が黄金色に色づいて輝き、風に散って美しく舞っており、不思議と気持ちが落ち着くのを感じた。

今学会のテーマは「安寧の労働を求めて：ストレスコミュニケーション」であった。安寧の意味は、世の中が平穏で公共の安全や社会の秩序が保たれていること、安らかな状態である。長かった平成不況からやっと景気回復の兆しがみえて、労働現場にも平穏が訪れることが期待されていた矢先、急激な世界同時不況で不穏な黒い雲がまた労働現場を覆いつくそうとしているこの時期に、まさに一致したテーマであった。

徳島大学の六反一仁先生による特別講演では、複雑な反応であるストレス反応の客観的評価方法として、ストレス評価用DNAチップを用いたストレスマーカー遺伝子の発現変化を解析する先端の研究内容についてわかりやすく講義いただいた。ストレスを評価するには、強さと持続時間以外にストレス関連疾患の発症に結びつく「病的なストレス反応」が重要であり、その反応を個人のストレス脆弱性として把握し、予防や対策を行うことの重要性が示唆された。その後のシンポジウムでは、5人のストレスに関する第一線の研究者および産業保健実践者による「ストレスコミュニケーション」を主題とした話題提供があった。やはり産業看護に関係する者として印象深かったのは、日本IBM 鈴木純子先生の「職場のストレスのケアとキュア」であった。厳しくなる労働環境の中で増加するメンタル不調者の状況や企業の方針としての対策に迫られる経過の中で、企業と労働者の間に立って安寧を求めて共に取り組もうとする後ろ向きでない産業看護職の姿勢に感嘆したが、産業保健従事者のバーンアウト予防へのケアも必要になるのではないかと危惧した次第である。

最後に会場からの質問や意見交換も活発になされ、大変有意義な会であったことを付け加えたい。

## 第48回近畿産業衛生学会参加に寄せて

パナソニック健康保険組合 産業衛生科学センター  
石原 敬康



一般演題は第一会場で拝聴しました。ライフサイクルの変化にともなう睡眠の質の変化について質問紙法による調査に基づく興味深い発表から始まり、特定保健指導に関連して、簡便でセルフモニタリングとして有用な腹囲と他の追

加リスク（血糖・脂質・血圧）の関係について有意な相関が見られるという発表がありました。次いで、日常の産業衛生、産業保健活動を通じた取り組みの報告、メンタルヘルスに関連する調査報告などがありました。どのテーマも産業衛生の分野で仕事をしていれば身近に感じるものだったと思います。質疑応答も盛んに行われました。

昼食懇談会は一流ホテルから招聘されたシェフによる料理が提供されました。さすが、“なにわの雄！大阪大学”と思いました。日頃疎遠になっている先生や学生時代に御世話になった先生方と料理に舌鼓を打ちつつ親睦を深める貴重な機会でした。

午後からは六反一仁先生による特別講演「ストレスの理解：ストレス関連遺伝子と遺伝子発現」を拝聴しました。六反先生はストレスのメカニズムの解明、その定量的評価法の開発について精力的に研究されています。ストレス応答は免疫系、神経系、内分泌系などなど複数の系が入り乱れて互いに影響を及ぼしあいながら成立するため、客観的評価も難しいのですが、血中のストレス関連蛋白質の発現を遺伝子レベルで見る、具体的にいうと遺伝子パターンを簡便、大量に見ることができるとして近年頻用されているDNAチップを用いることによって質的な評価に結びつける取り組みについて発表をされました。

その後、「安寧の労働を求めて：ストレスコミュニケーション」をテーマにシンポジウムが行われました。小泉昭夫先生、夏目誠先生、堤明純先生、茂原治先生、鈴木純子先生から、現在の労働者を取り巻く社会構造、職場の変化やそれらに潜むリスク、ストレスについて、それらへの対応についてお話がありました。絶対的な解答の無い難しい問題ですがパネリストによる討論では示唆に富む発言もあり、色々と考えさせられるものでした。やや予定をオーバーするほどの活発なディスカッションが続き閉会となりました。

産業衛生に携わる多分野の方々が一同に会し意見を交換し合う有意義な会に参加でき、非常に勉強になりました。

## 第18回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会に参加して

近畿健康管理センター 木村 誠



本年11月27日から29日まで愛媛県松山市で開催された協議会に出席した。私にとり専門分野は歯科保健であるので11月28日開催の3つのフォーラムの内「職場における歯科保健－生活習慣病予防における歯科の役割」に参加した。

フォーラムでは岡山大学森田学教授を座長として4名の話者提供者が出席された。発言者として演題は以下の通りである。

- 1)生活習慣病と歯科疾患との関連  
岡山大学 山中玲子助教
- 2)高知県における生活習慣病予防への歯科からの取り組み  
高知県歯科医師会 野村圭介理事
- 3)香川県における成人歯科健診プログラムの策定について  
香川県歯科医師会 岡田寿朗理事
- 4)香川県における特定健診・特定保健指導への歯科からのアプローチ  
三豊総合病院 木村年秀医長

産業衛生学会内での産業歯科保健部会が発足して2年足らずであり関係者の努力にもかかわらず職域での歯科保健活動は微々たるものである。法制度の問題も確かにあるがそれ以上に問われるべきは歯科界の姿勢ではないか。例えば本協議会も18回を数えた。産業衛生学会は来年82回を迎える。私は開業して30年になるが開業当初より職域保健に携わる努力を続けてきた。最初は酸取り扱い者を対象とした特殊健診を行うだけであったが今では職場巡視や従業員への保健指導も行っている。又研修の為に産業保健の講習会や学会にも出席する様努めてきた。その間同様の活動を続けている歯科医の知遇を得ることができたが、その数はほとんど変化していない。それも二桁に届くかどうかという数である。職域に歯科からのアプローチができる課題が少ないのではなく、話題を発見する努力が不足しているのではないか。又話題を発見しても解決しようとする熱意に欠けているのでは無いか。勿論開業歯科医にとり職域保健に割く時間が経営的に困難であるという声は知っている。特に近年の歯科医過剰時代であれば尚のことであろう。

しかし産業保健の課題はまずは職場を見なければ発見できないし、職域保健の原点はそこにしか無いのである。そのことを再認識した協議会であった。

パナソニック(株)高槻健康管理室 保健師 島村 裕子



2008年11月27～29日に松山で全国協議会が開催されました。「活力の創出とリスクの低減に貢献する産業保健」をメインテーマに、数々の講演やポスター発表があり、なかでも興味があったメンタルヘルスと特定保健指導について学ばせていただきました。

メインシンポジウムのテーマは、「若年労働者の活力創出に向けたメンタルヘルス上の課題とその対応」でした。若年労働者のメンタルヘルス不調が増えている昨今、「ワーク・エンゲイジメント」＝「仕事と個人との肯定的な関わり」という概念が注目されています。仕事の裁量権や社会的支援、上司からのポジティブなフィードバックなどの組織資源、および個人資源である自己効力感が充実するほど活力がわくことが研究で明らかにされており、管理監督者研修や職場環境などの改善、セルフケア研修などの産業保健活動が今まで以上に重要であることを学びました。

「特定健診・特定保健指導シンポジウム」では、壮年期（40歳代）、中年期（50歳代）の各年代における保健指導のあり方について述べられました。メタボリックシンドロームを発症する基盤は40歳以前から構築されており、保健指導などの取り組みを40歳以前から開始することが、より効果的であることが提示されました。また、50歳代は健康管理だけでなく退職後の健康増進・疾病予防の視点が求められます。メタボ予防のみでなく、心脳疾患、糖尿病、がんやうつなど多岐にわたる健康上の問題を視点に、私たち産業保健スタッフは職域から地域への橋渡しとしての役割も求められていることを学びました。

活力があり、働き甲斐のある職場であるためには、一人ひとりが心身ともに健康で業務に取り組める状態であることが求められます。産業保健スタッフとして、職場と連携を取りながら過重労働やストレスなどのリスクを取り除き、保健指導やストレス教育などを充実させたいと思います。

みかん果場や乳業工場の实地研修、また、会場のみかんが配られていたなど、松山の特色が生かされた学会でした。また、道後温泉はとても気持ちがよく、心身ともに温まり、今回のテーマの"活力"がわいてくるような学会でありました。

平成20年度日本産業衛生学会役員選挙結果報告

近畿地方会選挙管理委員会  
委員長 森岡郁晴

今回の選挙において、近畿地方会の被選挙人は1067名でありました。これに基づき地方会に割り当てられた役員数は、代議員113名、会長1名、監事2名となりました。推薦を受けた述べ人数は、代議員1416名、会長3名、監事6名でした。これに立候補者の代議員28名、監事1名を加え、代議員候補者321名、地方会候補者3名、監事候補者7名から役員を選出することになりました。

締切日までに届いた投票用紙は356通でありました。うち8通が差出人不明であったため、規約に従い無効とし、有効投票数は348通になりました。代議員の選挙において、得票数22票の方が8名いましたので、当選順位は選挙管理委員会委員による抽選で決定しました。続く理事候補者の選出は、代議員の互選により行われました。有効投票は101通でした。以下、それぞれの結果を報告します

地方会会長選挙開票結果

(敬称略 定員1名)

氏名	得票数
車谷 典男	237
藤岡 滋典	58

平成20年10月18日開票

監事選挙開票結果

(敬称略 定員2名)

氏名	得票数
植本 寿満枝	155
広田 昌利	88
加藤 俊夫	81

平成20年10月18日開票

理事候補者選挙開票結果

(敬称略 定員4名)

氏名	得票数
大脇 多美代	48
岡田 章 *1	47
廣部 一彦	44
山田 誠二	38
圓藤 吟史	34

平成20年11月23日開票

代議員選挙開票結果 (敬称略 定員113名)

氏名	得票数	氏名	得票数	氏名	得票数	氏名	得票数
荒木田 美香子	105	大橋 誠	43	竈門 敬二	31	辰巳 佳次	25
大脇 多美代	103	山中 佳子	41	横川 朋子	31	鍋谷 登	25
鮫島 真理子	102	藤井 八州子	40	松本 泉美	31	伏見 尚子	25
上坂 聖美	89	竹下 達也	40	鍵谷 俊文	30	前田 宏明	25
圓藤 吟史	89	宮下 和久	40	三好 佳子	30	益江 毅	25
川澤 孝子	78	川畑 真理	39	久保田 稔	29	吉田 途男	25
長上 美代子	77	玉木 登志枝	39	長谷川 恭一	29	寺澤 啓	25
石山 珠江	72	中西 一郎	38	小泉 昭夫	28	清原 達也	24
夏目 誠	72	久保田 昌詞	37	伊藤 勝啓	28	河野 公一	24
鈴木 純子	70	富永 なおみ	37	瀧本 忠司	28	園山 明	24
井手 陽子	68	埜田 和史	36	日高 秀樹	28	田中 健一	24
木曾 奈央子	66	相場 まり子	35	岡田 潮	28	田内 潤	24
車谷 典男	66	福西 みのり	35	一森 三千男	27	中田 一洋	24
岡田 邦夫	63	松澤 佑次	35	佐藤 洋	27	原 充紀	24
植本 寿満枝	61	伊藤 正人	34	高橋 良夫	27	茂原 治	24
原田 昌子	61	小林 伸行	34	広田 昌利	27	森口 次郎	23
松井 治子	61	松田 裕子	34	松岡 陽太郎	27	梶山 泰男	23
有西 幸子	60	河合 俊夫	33	大森 成二	26	森本 兼曩	23
堤 梨恵	59	萩原 聡	33	木村 穰	26	西尾 久英	23
竹林 真智子	56	藤岡 滋典	33	佐野 敦	26	宮上 浩史	22
青木 美恵	56	清田 郁子	32	杉谷 真弓	26	郷司 純子	22 次点1位
廣部 一彦	54	後藤 浩一	32	中嶋 千晶	26	西山 勝夫	22 次点2位
吉田 廣子	53	酒井 英雄	32	八木田 あけみ	26	林 佐栄子	22 次点3位
岡田 章 *1	49	照屋 直美	32	竹村 芳	26	榎屋 義雄	22 次点4位
平田 真以子	47	藤木 幸雄	32	木村 隆	25	原 一郎	22 次点5位
山本 修子	47	岡田 章 *2	31	杉本 寛治	25	田邊 淳	22 次点6位
西内 恭子	47	加藤 俊夫	31	伊藤 泰司	25	池田 正之	22 次点7位
江島 桐子	45	北村 栄作	31	井上 幸紀	25		
徳永 力雄	44	前久保 邦昭	31	今井 圓裕	25		
山田 誠二	44	山田 義夫	31	垣本 洋希	25		
森岡 郁晴	44	井口 弘	31	岸田 隆	25		

平成20年10月18日開票

\*1 新大阪健診クリニック

\*2 クボタ 枚方製造所

## 産業医部会からのお知らせ

### 第13回近畿産業医部会研修会「新型インフルエンザ」を終えて

実行委員長 久保田 昌詞（大阪労災病院勤労者予防医療センター）

平成20年10月4日午後、大阪市立大学医学部学舎において、「新型インフルエンザ」をテーマに第13回近畿産業医部会研修会を開催しました（参加者188名）。

産業医部会長山田誠二先生のご挨拶の後、佐野敦先生（パナソニックエレクトロニックデバイス（株））の司会で、国立感染研 長谷川英樹先生より『新型インフルエンザの脅威と経鼻ワクチン開発』と題して基調講演を頂いた。

H5N1インフルエンザウイルスの強毒化のメカニズムや臨床例、開発中の経鼻ワクチンの現況などについて説明された。

後半は瀧本忠司先生（ダイハツ保健センター）と筆者の司会でシンポジウム「新型インフルエンザのパンデミックに備えて」を進めました。木村正義先生（住友商事診療所）は、事業の絞込みや欠勤に備えた代替体制の構築が不可欠だが、最大の感染予防策は休業・在宅勤務であると述べられました。全羽先生（パナソニック健康保険組合健康管理センター）は鳥インフルエンザが頻発しているインドネシアの社会・医療情勢に触れ、出勤率60%を想定した事業継続法について述べられました。関西電力（株）の長田芳成氏はパンデミック時に基幹業務である電力の安定供給を維持し、社会的責任を果たす計画の一端を紹介されました。大阪労災病院の川村尚久先生は、新型インフルエンザ対応模擬訓練を通じての問題点を踏まえ、様々なケースや施設に準じた複数回の模擬訓練の必要性を指摘されました。司会としてリスクマネジメントの視点から職場の感染リスクの軽減と中小企業対策を至急指摘始めなければならないことを最後に申し上げました。従業員の安全と事業継続とは相反するベクトル上にあり、そのバランスをどのようにとるのかについて参加者の思索が深められ、行動開始への一歩となれば幸いです。最後に、研修会の準備・運営にご支援・協力頂いた関係の皆様へ深く申し上げます。

尚、第14回近畿産業医部会研修会は、森口次郎実行委員長のもと平成21年6月13日に開催予定です（産業医部会事務局）。



## 産業看護部会からのお知らせ

### 新しい経済社会にも産業看護職が必要とされるために

積水化学工業（株）滋賀栗東工場 保健師 長澤 孝子

昨年末からの、過去に経験したことのない日本経済の失速は、派遣者切りに始まり、雇用の確保が危ぶまれ、我々産業保健スタッフにも他人事ではない状況になっている。

現在、日本産業衛生学会で登録された産業看護師は1273名（平成20年）となり、近畿産業看護部会においても、すでに登録されている方に限らず、産業看護職全体のスキルアップに寄与するための研修会活動等に尽力している。

しかし、世界経済は、かつての「均質化」「大量生産」「大量消費」の姿には戻らないと言われており、日本でも、大きな組織（まさかの大企業）の倒産も懸念される。

日本が新しい経済を構築する時代に、産業看護を志す保健師・看護師も、高い附加価値（産業看護職の自己満足にとどまらず、経営者、労働者等が現実求めている附加価値とは何か）のある産業看護業務を具体的に提示していけるように、また、専門職としての品質と、それに見合った賃金交渉、並びに雇用の確保に努力することが、目前の課題である。

また、この時代に生き残る（簡単には首のすげかえが出来なかった）産業看護職の、何が企業や雇用主にとって価値であったのかも、事実として記録に留め、検証していかなければならないと感じる。

## 会員の声

### 変



財団法人和歌山健康センター  
岩根 幹 能

2008年の漢字は「変」でした。ガソリン1バレル147ドルが32ドルに急降下。為替も1ドル120円が90円以下に。オバマさんの「CHANGE」どころではない社会情勢変化でした。自動車不況や中国不況で、協力会社の若い従業員が「10日間も連続休業やで、この先どうなるのかホンマ心配やわ」と言っていました。ゲリラ豪雨が流行語になりましたが、ゲリラ不況です。企業は健康管理にお金がかげにくくなり、個人も高血圧の薬にお金を払わなくなってしまいます。日本の政権も「変」となるのでしょうか。

個人的な「変」は脱メタボです。身長171cm、体重72.5kg、BMI24.8kg/m<sup>2</sup>、腹囲90cm。内臓脂肪面積は50cm<sup>2</sup>で多くなかったのですが、確にお腹が出ていました。そこで2008年年初に体重70kg切りを決意しました。た

った2-3kgの減量ですが、実績として過去数年間1度も70kgを切ったことがなかったのです。

車通勤を電車通勤にしました。すると、事故を起こす心配と、運転に伴うイライラと、ガソリン代が不要になり、読書時間ができました。最初は最寄駅から30分歩きました。その後、乗換駅から50分歩くことにしました。現在は電車に乗らず65分歩いています。その結果、体重64kg、BMI22kg/m<sup>2</sup>、腹囲79.5cm、内臓脂肪面積16cm<sup>2</sup>になりました。METsやエクササイズやカロリーに詳しくなりました。初のハーフマラソンを走りきりました。2009年にはフルマラソンに初挑戦します。元気にアラフォーを過ごしたいと思います。また、降圧薬にお金が払えない人には徒歩通勤を勧めたいと思います。

2003年の漢字が何だったかは近畿地方会の皆様なら覚えておられると思います。そう、「虎」です。2008年の逆V字転落、高齢化プラス若年層の伸び悩み、他からの派遣依存など、どこかの会社のようなチーム事情で心配ですが、そのくらい欠点のある方が愛着が湧くのはトラファンの本性でしょうか、それとも産業保健スタッフの性でしょうか。

阪神優勝とすべての人にとって今年1年が安全・健康で発展の年になることを祈念しております。

### 産業保健と地域保健の連携の実践者のひとり —奈良と東京を行き来して—



労働衛生コンサルタント  
奈良産業保健推進センター  
東京都結核予防会  
畠山 雅 行

新年あけましておめでとうございます。本年も日本産業衛生学会と近畿地方会がますます発展されます事を祈願しながら、

「会員の声」を先輩「車谷先生」よりのご依頼で執筆させていただきます。

奈良医大を昭和58年に卒業して大学院・県立病院・県庁・保健所を経て、事務所を設立し独立しております。その間に医療・福祉・保健・教育・文化分野を経験でき今も拡大中です。今年または今後してみたい事について書きました。お正月の「おとそ」気分が抜けていない中で書きましたので、関係方面の方々に失礼がございましたらいけませんので「どうもすみません」と先に謝っておきます。

(1) 奈良県の全域を路上禁煙にしたい。世界一空気のおいしい観光地にする。これで観光客はうなぎ登りで平城京1300年祭の「せんとくん」もにっこりさせたい。(2) アスベスト暴露による「中皮腫」を早期発見したい。実は専門領域が肺癌・塵肺・放射線医学です。確実な治療法の

ない中皮腫患者さまの補償を増やしたい。(3) 「リプロヘルス」「HIV」「結核」を忘れていた介護士・看護師・保健師さんに思い出してもらおう。実は看護や福祉の学校で「公衆衛生」などを講義しています。その教え子も今や現場の中心ですが、「奈良に結核を広めない会カンファレンス(ATAC)」でワインを飲みながら講義・研修会をしたい。

(4) 健診・医療や福祉の精度管理と精度保障を利用者に分かりやすいものにした。 「セカンドオピニオン」から今後は「チームオピニオン」ですね。「パラメディカル」から「コメディカル」の確認と実行ですね。(5) ホームヘルパー・介護士・歯科衛生士・理学療法士・放射線技師の社会的評価がさらに上がる事に協力したい。100年に一度の経済恐慌ですが、社会的評価と給付上昇を勝ち取るべきですね。(6) 今年30回を迎える奈良県公衆衛生学会の充実を図りたい。一方今年には全国公衆衛生学会総会が「車谷教授」により奈良で開催されます。この機会をチャンスと捉え奈良県公衆衛生学会でも、若手や中堅の研究者に金一封や表彰また地域住民に向けた公開講座を開催してみたいですね。(7) 北海道と沖縄で毎年1ヶ月ほど過ごす。これは家族も賛成のようで実行できそうです。

好き勝手な事を書きました。

最後に日本産業衛生学会近畿地方会と関係される方々の今年のご健康とご発展を祈ります。皆様今後とも宜しくお願いいたします。

## 会員の声

### 生活習慣病予防を目指して

滋賀医科大学 社会医学講座  
公衆衛生学部門  
三浦克之

私たちの部門は、上島弘嗣教授のもと、生活習慣病、特に循環器疾患の予防に関する疫学研究に最も力を入れています。観察的疫学研究としては、日本人における循環器疾患の発生状況や動脈硬化の進展を把握し、また、これに関わる危険因子や生活習慣要因の研究を様々な集団におけるフィールドワークを通して行っています。滋賀県高島市住民の脳卒中・心筋梗塞発症状況を調査している高島研究はすでに15年以上継続しており、また、最近滋賀県草津市住民を対象として開始した潜在的動脈硬化進展に関する調査は、米国白人やハワイ在住日系人との動脈硬化度の比較も行っています(ERA-JUMP)。高血圧に関連する栄養要因を明らかにする米英中日共同研究INTERMAPからは様々な栄養素が血圧と関連することが明らかになっています。

上島教授が中心となって実施している厚労省循環器疾患基礎調査対象者の長期追跡研究であるNIPPON DATAは日本を代表するコホート研究として知られており、その結果は各種ガイドラインにも活用されています。循環器リスク

チャートは職域での健康教育にも活用できるでしょう。

私たちは生活習慣修正のための手法に関する研究も行ってきました。ハイリスク対策としての保健指導手法については、老健法による個別健康教育の基礎を作る研究を実施し、その成果は現在の特定保健指導にも引き継がれています。現在も近畿圏の職域や地域の集団において効果的・効率的な保健指導プログラムの開発を続けています。一方、生活習慣病予防のためのポピュレーション対策の手法に関する研究も行ってきました。厚労省研究班にて全国から多くの事業所を募り、事業所全体での栄養・運動・喫煙に関するポピュレーション対策手法を開発しました。従業員食堂を活用した栄養教育や、身体活動量増加のためのキャンペーン手法など、現在の職域での対策の基礎を作ることができたと自負しています。

生活習慣病予防対策においては働き盛りの男性への対策が大変重要であり、産業保健の担う役割はとても大きいものです。これからも働く人々の生活習慣病予防に役立つエビデンスを出し続けてゆきたいと考えています。



### 追い風の時も、向かい風の時も



和歌山県警察本部  
厚生課 健康管理対策室  
原 充 紀

私が、県警の保健師として働き始めてから早いもので9年目を迎えている。月日が経

つのは早いもので、60歳を定年とするならば、すでにその1/4の時間をこの県警で勤務していることになる。さて、和歌山県は南北に長い土地を有し、北から南まで約3時間、この地で2400人余りの警察官及び職員を対象に保健師2名、嘱託産業医6名、嘱託臨床心理士1名で「健康警察」の実現に向け、日々予防活動に取り組んでいる。また、平成14年度からは、各所属の幹部がリーダーとなり、自所属の健康問題を分析した上で、独自の施策を展開し、組織の健康のスパイラルアップを図る「健康指導リーダー事業」が始動し、健康の種まき活動の担い手が一挙に倍増した。これを機に職員による自主的な健康づ

くり活動が始まり、受身から攻めに転じたという意味においては一つの大きな転機であったと考えている。その取組も今年で7年目、ある幹部職員から部下の健康状態を気遣う相談電話が入るなど、少しずつではあるが、職場の健康を自分たちの問題として考えようとする文化が育ってきている。しかしその一方で、メンタルヘルス不調者に対する心ない幹部の一言に、「さすが体育会系職場!!」と一筋縄ではいかない難しさを再認識させられたり、前進と後退を繰り返しながらも一歩でも前へと奮闘する毎日である。

「自分には自分に与えられた道がある 広いときもある せまい時もある のほりもあればくだりもある 思案にあまる時もある 何かし心を定め希望をもって歩むならば 必ず道はひらけてくる 深い喜びもそこから生まれてくる。」これは経営の神様、松下幸之助氏の言葉である。追い風の時も向かい風の時も、いつも心に北極星を宿し、ぶれることなく一本道を進み続ければ、予防活動という私達の取組は、ある日、コップの水があふれるように、健康文化で満たされるのであろうということ信じ、日々の業務に取り組んでいきたいと思う。



## 私たちの職場(12)

### 『健康開発センターをオープンして』

関西アーバン銀行(株) 健康開発センター  
保健師 相場 まり子

心齋橋のホテル日航大阪の北隣のビルが、関西アーバン銀行の本店です。当行は三井住友銀行グループの第二地銀、都市型リテールバンクで、平成16年2月に関西銀行と関西さわやか銀行の合併により誕生しました。近畿地区に85支店、その他は名古屋と東京に支店があります。健康保険組合は単一健保で被保険者数は約2700名、被扶養者を含めて対象は約5300名です。健康開発センターは創業85周年福利厚生事業として、銀行(事業者)が設立し健康保険組合が運営しております。私はこの事業に向けて、三井住友銀行健康開発センターを退職した翌日の平成19年3月1日より勤務を始めました。

平成20年4月7日に本店ビル8階にオープンするまでの1年間、健康保険組合常務理事と人事部次長の3人でたくさんの施設を見学し、担当機関とのさまざまな打ち合わせを重ねてきました。銀行側の意向で診療科目は内科・心療内科・歯科と決まりました。少人数での運営となりましたので、レセプトと一体型の最新電子カルテシステムを内科・歯科共に導入しました。内科の電子カルテには保健指導の内容も入力できますし、検査値はグラフ表示も簡単にでき、とてもよい選択だったと私は思っています。

オープンの際は専属常勤産業医(内科医)1名、常勤歯科医1名、非常勤精神科医1名、保健師2名、薬剤師1名、歯科衛生士1名、歯科助手1名、事務1名と事務局長として健康保険組合常務理事の計10名となりました。専属産業医となった並河先生と私は、住友銀行時代から18年間共に産業保健に携わってきたので、健康管理に対する考え方が大差ないのは幸いでした。当健康開発センターでは被保険者のみを対象とする一般診療業務と健康管理業務を行っています。(二次検診の一部と特定保健指導の一部も実施)ふたりの保健師で終日一般診療も担当するので、本来の

健康管理業務になかなか時間が取れないのが現状です。産業看護職の増員を希望しているのですが、景気後退もあってなかなか難しいようです。

レントゲン設備をあえて持たなかったのも、一次健診と特定健診はすべて他の医療機関に委託しています。従業員の約半数となる支店勤務者の一次健診・特定健診は大阪府立健康科学センター(以下健科センター)に委託し、十分な内容でフォローアップや特定保健指導をしています。平成15年から続けていた健康保険組合主催、健科センター監修のウォーキングイベントを、昨年は携帯メールによるIT支援タイプのプログラム(ポピュレーションアプローチ)として再構築しました。イベントの参加率は前よりアップし、行動変容が期待できる結果となりました。そこで今年度は携帯メールだけではなくパソコンからの入力も可能とし、被扶養者まで対象を広げた改訂版で1月から実施します。メンタルヘルス対策は従来、定期健康診断時の問診票を参考に、健科センターの「心身リフレッシュコース」の受診を勧奨してきました。今年度からは心療内科の非常勤医と相談して、まずはメンタルヘルス研修から始めています。過重労働面談・産業医面談などから心療内科受診につながるケースもあり、少しずつメンタルサポートが「かたち」になってきています。

12月のインフルエンザの予防接種実施時を、健康開発センターの存在をアピールするチャンスと考え、予約制にしてひとりひとりの健康診断のデータを事前にまとめて接することになりました。後日二次検診の未実施の方が来られたり、ポスターなどにより歯科健診や歯科治療の希望者も増えて、チャンスは生かされたように思います。

オープン1年間は試行錯誤ですが、来年度以降は少しずつ産業保健活動を広げたいと思っています。



## 平成20年度第3回定例幹事会議事録

日時 平成20年11月22日(土) 11:50~12:20  
 場所 大阪大学医学部 银杏会館 2階会議室A  
 出席 圓藤 植本 車谷 上田 荒木田 大脇  
 鍵谷 河合 木村 清田 小泉 佐野 鮫島  
 竹下 長澤 夏目 西山 宮上 森岡 山田  
 森本(第48回近畿産衛学会会長)

(計22名)

欠席 岡田章 河野 岡田邦 土手 廣部  
 (計5名)(敬称略、順不同)

1. 圓藤吟史近畿地方会会長挨拶
2. 第48回近畿産業衛生学会森本兼襄(大阪大学大学院教授)会長挨拶
3. 報告および審議事項
  - (1) 第49回近畿産業衛生学会(平成21年、神戸)開催について  
 西尾久英第49回学会長から進捗状況が報告された。  
 日時 平成21年11月14日(土)  
 会場 神戸大学  
 懇親会 神戸大学生協 17:00~19:00  
 日医認定産業医研修については実施予定である。
  - (2) 第50回近畿産業衛生学会(平成22年、滋賀)開催について  
 圓藤会長より滋賀県選出の代議員に実施に向けての検討が依頼された。
  - (3) 第57回(平成21年)近畿地方会総会開催について  
 車谷典男次期近畿地方会長より、正式就任前であるが会場選定の都合上平成21年6月6日(土)、5月30日(土)、6月20日(土)のいずれかの日程で大阪市大医学部学舎をあたってもらえないかとの申出がなされた。
  - (4) 近畿地方会選挙管理委員会中間報告  
 森岡郁晴近畿地方会選挙管理委員長より中間報告が資料に基づいてなされた。  
 会長 車谷典男  
 監事 植本寿満枝 広田昌利  
 代議員 113名  
 本部理事は近畿地方会からは4名が選出されることになっており、現在113名の代議員の互選によって11月20日までに投票期間であった。



男性用スキンケア化粧品

UL・OS ウル・オス 新発売!



スキンローション200ml メーカー希望 1890円(税込)  
 スキンミルク200ml メーカー希望 1890円(税込)  
 スキンクリーム80g メーカー希望 1260円(税込)

瑞々しく弾力のある肌に  
 全身に潤いと、はり、ツヤを与えて、肌の柔軟性を保ち、生き生きとした健やかな肌に導きます。

全身スキンケア  
 さらっとした使用感  
 保湿成分AMP(アミノシンリン酸)の配合  
 微かに香る天然香料

大塚製薬株式会社大阪支店  
 〒530-0005 大阪市北区中之島6-2-40  
 TEL:06-6441-6532

## 平成20年度第2回代議員会議事録

日時 平成20年11月22日(土) 12:20~12:40  
 場所 大阪大学医学部 银杏会館3階会議室D・E

1. 代議員(平成20年11月1日から任期の代議員)会成立の確認  
 現在の代議員数113名(11月22日現在)  
 出席41名(委任状47名)  
 (現在数の過半数の出席により成立-地方会会則第13条)
2. 伊藤正人先生(パナソニック株式会社AVCネットワークス社)を議長選出
3. 圓藤吟史近畿地方会会長挨拶
4. 第48回近畿産業衛生学会森本兼襄(大阪大学大学院教授)会長挨拶
5. 報告および審議事項
  - (1) 第49回近畿産業衛生学会(平成21年、神戸)開催について
  - (2) 第50回近畿産業衛生学会(平成22年、滋賀)開催について
  - (3) 第57回(平成21年)近畿地方会総会開催について
  - (4) 近畿地方会選挙管理委員会中間報告
 (1)~(4)は幹事会議事録を参照  
 会場からは発言なく、議長の確認に拍手にて承認された。
- (5) その他
  - 1) 山田誠二近畿産業医部会長より次年度の事業計画の概略が報告された。
  - 2) 宮上浩史代議員より、地方会幹事は地方会長と4名の理事の合議で候補者が選ばれているが、選出のルールのも明確化と公表を希望するとの意見が述べられた。

## 平成21年度近畿地方会総会についてのお知らせ

日時 平成21年6月6日(土)  
 会場 大阪市大医学部学舎 4階大講義室

詳細は4月初旬近畿地方会ホームページに掲載する予定です。

### 会員の異動 (敬称略)

#### <新入会員>

- 甲斐千恵美 (京都大学保健管理センター)
- 井口廣昭 (井口矯正歯科)
- 前田和美 (パナソニック健康保険組合健康管理センター)
- 浅井 淳 (ノーリツ鋼機株式会社)
- 宇多川未帆 (カノミ矯正・小児歯科クリニック)
- 中濱 肇 (川崎重工明石健康支援センター)
- 杉村知美 (パナソニック健康保険組合産業衛生科学センター)
- 遠藤真紀子 (パナソニック健康管理センター)
- 坂本 充 (大阪市東淀川区役所)
- 坂下英淑 (関西福祉科学大学大学院)
- 甲斐千恵美 (京都大学保健管理センター)
- 井口廣昭 (井口矯正歯科)
- 前田和美 (パナソニック健康保険組合健康管理センター)
- 浅井 淳 (ノーリツ鋼機株式会社)
- 宇多川未帆 (カノミ矯正・小児歯科クリニック)
- 中濱 肇 (川崎重工明石健康支援センター)
- 杉村知美 (パナソニック健康保険組合産業衛生科学センター)
- 遠藤真紀子 (パナソニック健康管理センター)
- 坂本 充 (大阪市東淀川区役所)
- 坂下英淑 (関西福祉科学大学大学院)
- 西村将彦 (大阪大学耳鼻咽喉科)
- 川村尚也 (大阪市立大学経営学研究科)
- 木津聡子 (アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社)
- 兼田淳子 (京都医療センター臨床研究センター)
- 梶岡恵子 (京都工場保健会)
- 佐藤恵子 (京都大学社会健康医学)
- 竹上未紗 (京都大学医療疫学)
- 田中香織 (三菱電機株式会社伊丹製作所健康増進センター)
- 淡路水須 (和歌山健康センター)
- 向井香那恵 (和歌山健康センター)
- 奥田友子 (京都工場保健会)
- 澤田典子 (京都工場保健会)
- 稲田英美 (京都工場保健会)
- 山岸 学 (ダイセル化学工業株式会社)
- 原 麻由美 (パナソニックエレクトロニクスデバイス株式会社)
- 服部 忠 (近畿健康管理センター)
- 阿部志津香 (近畿健康管理センター)
- 寺田哲也 (近畿健康管理センター)
- 植村京子 (オムロン株式会社)
- 高野賢一郎 (関西労災病院勤労者予防医療センター)
- 松島由美子 (参天製薬株式会社)
- 水野昭彦 (水野歯科医院)
- 正文文浩 (歯科正本医院)
- 松尾 亮 (松尾歯科医院)
- 浮草 実 (NECウイティレグ 健康管理室)

#### <再入会>

- 中山祥嗣 (兵庫県)
- 山下邦彦 (兵庫県)

### 第48回近畿産業衛生学会風景

#### ・一般演題の会場



#### ・特別講演の会場



### 編集後記

経済不況の波は昨年末から加速度的に進み、人員削減・新規採用取り消し等々、多くの方が職を失う中で、働く人を取り巻く環境は日毎に厳しくなっています。このような状況の中で、産業保健従事者はその対応が迫られています。明るく元気な対応で、支援活動を続けたいと思います。

さて、今回で広報担当の任期を終える事になりました。会員の皆さんに見て・読んで頂ける内容を目標に、編集委員一同努めて参りましたが、多くの課題を残したままバトンタッチする事となりました。編集委員の諸先生にご尽力頂き、無事終える事が出来ました事深く感謝致します。(植本)

#### 編集委員 (五十音順)

- 荒木田美香子・植本寿満枝(編集責任)
- 木村 隆・竹下達也・長澤孝子・宮上浩史
- 森岡郁晴(広報事務局)

## Nakanoshima Clinic 中之島クリニック

京阪電車延伸でアクセスがより便利に!!  
PETキャンペーンのご案内(2009年2月~3月)

PETベーシックコース 84,000円(税込)  
PET検査に腫瘍マーカーなどを組み合わせた基本コースです。  
※CEA・α-FP・CA19-9・PSAorCA-125・STN抗原  
PETベーシック+脳MRI 105,000円(税込)  
併せて事業主・健康保険組合様の健康管理・健康増進活動に  
当クリニックの人間ドックのご案内をさせていただきます。

1. エントリーコース 44,100円(税込)
2. ジェネラルコース 男性47,250円(税込) 女性48,300円(税込)
3. 宿泊コース 80,000円(税込) 宿泊ホテル:リーガロイヤル  
又、MRI・CT等は健康診断の精査にもご活用ください。

〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1-2  
電話: 06-6451-6100 予約専用: 0120-489-401  
E-mail support@nakanoshima-clinic.jp  
URL www.nakanoshima-clinic.jp